

群馬県 様

目的	従業員数	業種	エリア
情報共有	1,001 名以上	公共機関	関東甲信越

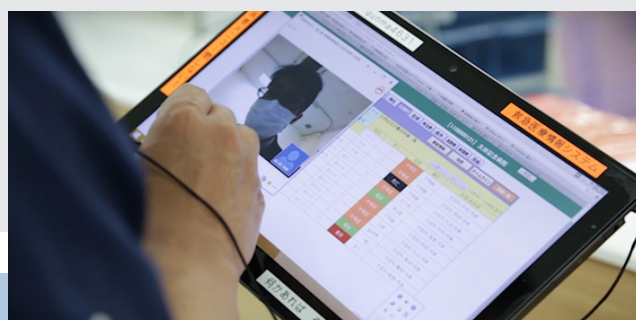
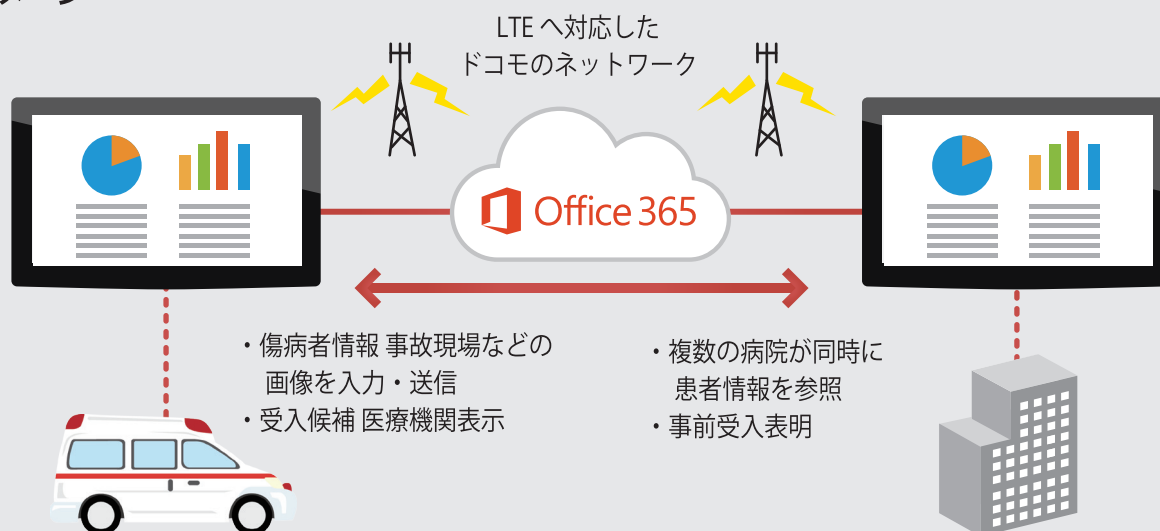
『医療先進県ぐんま』は
救急医療のさらなる
充実をめざす

人口約 200 万人、関東北西部に位置する群馬県。県民が安全で安心できる暮らしづくりのため『医療先進県ぐんま』を掲げ、医療分野でもさまざまな施策に取り組み、近年は救急医療の効率化を図っている。

■使用しているサービス

Windows 8 タブレット

■利用イメージ



Before



救急隊から病院側へ患者の容体などについて情報を伝える際に、これまでは口頭説明に頼るしかなかった。

救急隊が病院へ患者を搬送する際に、病院の受け入れ状況が、電話でしか確認できなかった。

従来のノートブック PC は、屋外や医療現場といった特殊な環境では、使用することが難しく、ICT の導入がすすまなかった。

After



Office 365 を使って、簡単に救急現場から病院へ、画像や映像も使用し、患者の状況をより詳しく伝えることができるようになった。

救急隊から病院の受け入れ状況確認が視覚化され、患者の受け入れ拒否等の件数を減らすことができた

耐水性（防水）と耐薬品性のあるタブレットにより、救急医療現場への ICT の導入が可能となり、効率化がすすんだ。

一人でも多くの患者を助けるために、救急医療の効率化を進めていきたい

群馬県は誰もが安全で安心できる暮らしづくりをめざし『医療先進県ぐんま』を掲げてさまざまな施策に取り組んでおります。これまで別々に運用されていた医療に関する情報を統合し、統合型医療情報システムとして新たに運用を開始しました。救急医療機関と消防本部にシステム専用端末として Windows タブレットを配置し、救急車のタブレットと合わせて ICT を活用した救急医療の効率化と高度化を図りました。導入の決め手はまず耐水性と耐薬品性です。災害現場では悪天候で使用するケースもありますし、使用後に薬品消毒できれば安心です。また病院ではキーボードで文字入力をすることも多く、普段から使っている Windows のタブレットなら病院スタッフも

抵抗なく使えます。救急車にタブレットを配備したことで、患者を搬送する際に病院側が収容できるか否かといった情報が事前にわかるようになり、混雑した医療機関を避けて別の医療機関を選定することができます。これまで重症以上の患者さんが3回以上受け入れを断られた回数についての統計があるのですが、タブレット導入によって約 3 割減少しました。また救急搬送の際、病院側はできるだけ患者の詳細な情報を必要とします。以前は電話しか情報を伝える手段がありませんでしたが、Office 365 と既存のシステムを使って救急現場から病院に画像や映像の中継が簡単にできました。今後は「てがき翻訳」を利用して外国人の救急患者さんにも、より迅速に対応したいですね。



■ 営業担当者からのメッセージ



ドコモ CS
群馬支店
法人営業部
第一法人営業担当
荻原 智恵

従来の搬送状況の共有だけでなく、office365のアプリケーションの活用により映像で患者の状況をより詳しく伝える事ができました。それにより病院側の受け入れ準備もスムーズになり、群馬県の救急医療の分野において業務効率UPを実現することができました。今後も群馬県・病院・消防と共に課題解決に向け一緒に考え提案していきたいと思えます。

■ Company Information

面積の約2/3を丘陵山岳地帯が占め、首都圏をはじめ各方面へのアクセスも便利な群馬県。「県民のいのちを守る」ため、医療福祉分野に力を入れ「医療先進県ぐんま」を掲げている。

お問い合わせ



ビジどこ タブレット向け電子コンテンツアプリ



「ビジどこ」は、あなたの仕事をもっとスマートになるビジネス情報を発信するアプリです。動画など、アプリならではの機能を活かした多彩なビジュアル表現でお届けします。

ドコモの法人向けサイト

docomo Business Online

ドコモビジネスオンライン

検索

パソコン/スマホから

<http://www.docomo.biz/>

